

Natsuco Grace (ナツコ グレース)

【プロフィール 2021.4】



カントリーミュージックを愛する、日本で最初のカントリーダンスグループ「Dancin' Texas (ダンシング・テキサス)」の代表。

本場テキサスでカントリーダンスを習得し、大型イベント、ステージでのパフォーマンス、TV・雑誌をはじめ各種メディア等で日本におけるカントリーミュージックとダンス、そしてテキサス文化の紹介・普及に努め、2019年に活動30周年を迎えた。

コレオグラファーとしてもステップ「エイキーブレイキー」は代表作として日本各地で愛され、踊られており、日本でのカントリーダンスブームの火付け役となる。

94年、カルチャースクールとしては日本で初めての「カントリーダンスクラス」を開講。

現在、大手カルチャースクール(東京、神奈川、千葉エリア)、九州他全国各地に姉妹校を持ち、ダンシング・テキサスのメンバーが約50校、総生徒数500人余りの指導にあたっている。

またダンス向きカントリーミュージックのコラボレーションCD「レッツ・ブーツ・ダンシング」はMCAビクター、BMGビクター、カーブレコードからレーベルの枠を超え5枚に渡りリリース、ダンスを通じたカントリーミュージックの普及にも貢献している。

ファッション業界ではデザイナーとしても活躍、ナツコグレースデザインのウェスタンシャツは多くのカントリーミュージシャン&ダンサーに支持を得ている。

2011年にはテキサス州名誉州民を授与される。

【主な活動】

- ・ 2019年活動30周年記念パーティーを銀座ケントスにて開催。
- ・ 2014、2016年にテキサスツアー、2019年には30周年記念「ナッシュビル&テキサスツアー」をJTBとのコラボレーションで開催、テキサスの情報ニュース番組にも生出演。
- ・ 2018年 アメリカ全国放送の公共TV局PBS(Public Broadcasting Service)の番組「This is America & The World」でナツコ・グレースのインタビューが放送される。
- ・ 2015年 テキサス文化を発信する日本人の代表としてテキサスのTV局より取材を受け、全米メディアにて紹介される。その映像は大変反響をよび、2016年にはテレビ界の権威あるエミー賞を受賞。
- ・ 2014年10月 アメリカ大使館主催 Grand Hyatt Tokyo 「Taste of America」、12月 在日米国商工会議所(ACCJ)チャリティーボール出演。
- ・ 2011年 アメリカ大使公邸でのアメリカ独立記念式典に出演、また式典へご招待頂くなど日米の文化交流につとめる。
- ・ ハーレーダビッドソン専属ダンサー、Zepp DiverCity、Tokyo、JATA(テキサス州政府観光局)他、多くのイベントでのパフォーマンス
- ・ 日本最大のカントリーイベント「Country Gold」では25年以上ダンスレクチャーを行う。
- ・ 2001年 六本木のヴェルファーレにて「Let's Boots Dancin' in Velfarre」
- ・ 2010年 フジテレビ「はちたま」にて「Super Let's Boots Country」他、カントリー音楽&ダンスの大型イベントを主催。